

平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	スポーツリテラシーⅦB(Sports LiteracyⅦB)・柔道		授業コード	E001956
担当教員名	橋本 堅次郎			
配当学年	3	開講期	後期	
必修・選択区分	選択	単位数	4	
履修上の注意または履修条件	指定クラブ学生のみ受講可。			
受講心得	出席は毎回取ります。			
教科書				
参考文献及び指定図書	特になし。			
関連科目	健康の科学、スポーツ科学、生涯スポーツ指導、体育実技A、体育実技B、スポーツ実践・基礎			

授業の目的	後期を通して、各種目のスポーツトレーニング・練習方法・戦術に関してどのようなことに興味があり、問題意識を持っているかにより各種目のテーマを決定し、インターネット・文献・著書・ビデオ等色々な方法で資料を収集し、分析することを目的とします。
授業の概要	

○授業計画		
学修内容	学修課題(予習・復習)	
技術レベル……受け身の理 知識レベル……格技スポーツとしての特徴 戦術レベル……日本人選手と外国人選手の戦術の違い		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	
【知識・理解】	技術レベル……受け身の理 知識レベル……格技スポーツとしての特徴 戦術レベル……日本人選手と外国人選手の戦術の違い
【技能・表現・コミュニケーション】	
【思考・判断・創造】	

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	0点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。				
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。				
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。				
(「人間力」について) ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	
発表・その他(無形成果)	